

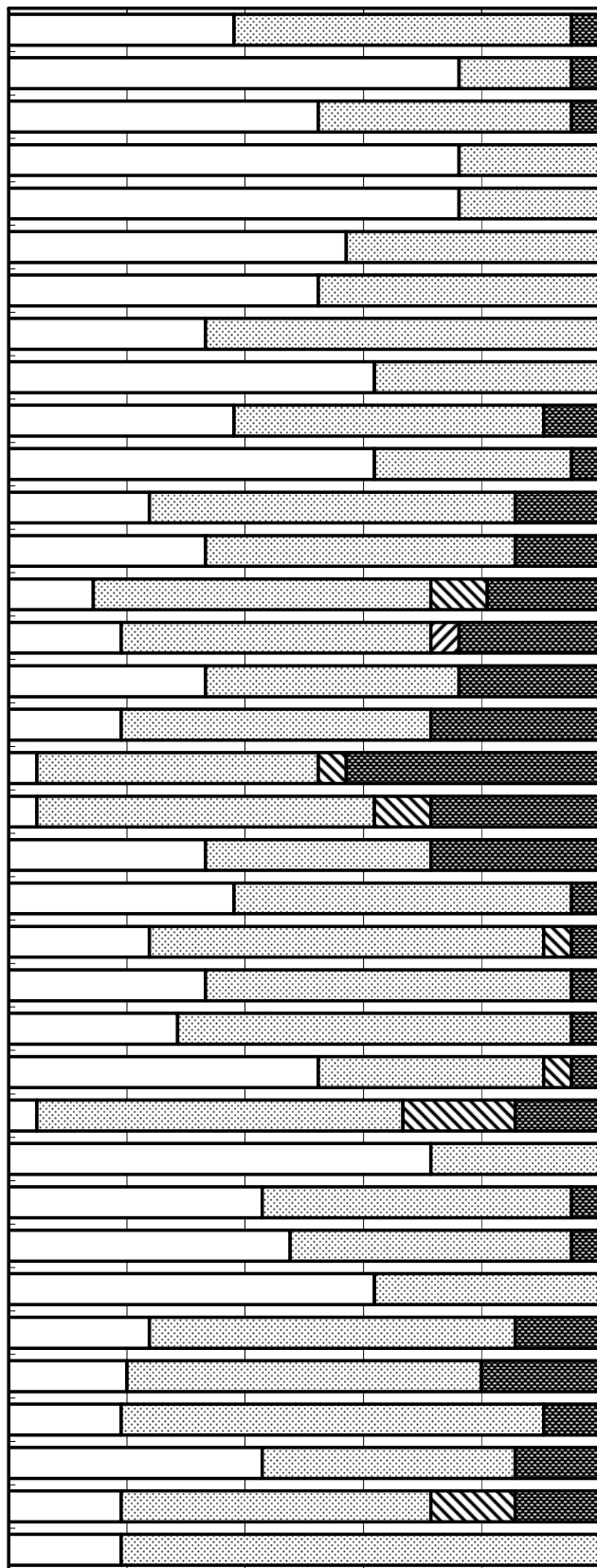
1 教職員による自己評価について

平成22年 7月実施

(1) 集計結果

No.	区分	No.	評価項目
1	学校経営・学校運営	①	学校教育目標、めざす児童像を意識しながら、教育活動を進めている。
		②	さまざまな教育活動が、学校教育目標達成のため、具体的な見通しを持って行われている。
		③	教育課程や指導計画は、本校の実態に即したものとなっている。
		④	教育公務員としての自覚を持ち、職務に従事している。
		⑤	職員間の連携や協体制度がとれている。
		⑥	職員間での報告・連絡・相談を密にするよう努めている。
		⑦	児童や教職員の個人情報の管理を適切に行っている。
		⑧	教職員の適性・能力に応じた校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。
		⑨	職員会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能している。
		⑩	学校行事は職員の共通理解の下に実施され、内容も適切である。
		⑪	教職員間の相互理解が十分になされ信頼関係に基づいて教育活動が行われている。
2	教科等の指導	①	児童が意欲的に取り組む指導内容・指導方法の工夫を図っている。
		②	教科の基礎的・基本的内容を確実に定着させようと努力している。
		③	個に配慮した授業を行っている。
		④	朝の学習(15分間)は、基礎学力の定着をめざしながら、効果的に実施している。
		⑤	宿題や家庭学習に対する指導を行っている。
		⑥	道徳では、生命尊重や思いやりの心を育てることを重視し、指導に努めている。
		⑦	総合的な学習では、ねらいをふまえた活動計画を立て、実践している。
		⑧	学級活動の指導に当たっては、児童の自主的・自発的な自治活動を意識して行っている。
		⑨	各教科等の授業時数を確保することに努力している。
3	生徒指導	①	あいさつや時間を守るなどの基本的生活習慣に関する指導を確実にしている。
		②	児童が我慢強く、粘り強くやりぬくことを意識した指導を行っている。
		③	教師と児童の心の触れ合いを深めるための活動を通して信頼関係を強めることに努めている。
		④	家庭との連携を密にし、教師と保護者の信頼関係を築くよう努力している。
		⑤	教育活動全体を通して、学習・生活のルールやマナーを身につけさせるよう努めている。
		⑥	教職員の共通理解の中、学校の決まりや約束ごとの指導をし、成果が見られている。
4	安全管理	①	校舎内外の安全点検を計画的に実施することにより、危険箇所・修理箇所の対応ができています。
		②	登校・下校時、または下校後の安全指導に配慮し、指導を行っている。
		③	施設・設備は安全に使用され、また活用されやすいように整備されている。
		④	緊急時の対応(防災・防犯)について共通理解が図られ、計画的に訓練がなされている。
5	研究・研修	①	研究会で話し合われた論理や方法、授業研究の成果を日常の実践に生かそうとしている。
		②	教材研究を積極的に行い、授業の改善・工夫に努めている。
6	保護者の連携・地域	①	授業参観・部会・学校公開は、学校との連携を深めるために、有効に活用されている。
		②	学校・学年・学級だよりなどにより、適時必要な情報提供を図っている。
		③	地域の人材や文化財・自然環境などを、積極的に教育活動に取り入れるよう努力している。
7	その他	①	清掃、花壇の管理、花作りなど、美しい環境づくりの推進に努めている。

□ そう思う □ ほぼそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない □ 答えられない



(2) 記述欄集計

① 学校経営・学校運営

○めざす児童像の「人の話をしっかり聞くことのできる子」については、意図的・意義的な取り組みが必要だと思われる。

② 教科等の指導

○朝学習は、場当たりの指導となってしまう、見通しを持った計画的な活用ができていない。アンケートをしたり、児童会活動の話し合いをしたり、学活の時間になってしまうことも時々あった。

○高学年になるとどうしても到達度にばらつきが出てしまい、一斉授業だけでは難しい面がある。ティームティーチングの時間配分を高学年に多くしたらどうだろうか。

③ 生徒指導

○校舎内では、静かにすごす、あいさつをする、などは繰り返し指導しているが、なかなか身に付かないのが実情である。

○あいさつ、ルールやマナーなど、引き続き根気よく指導していきたい。

○ルール等を指導しているその時だけしか守れない子が多い。身に付くまで辛抱強く指導を続けたい。

○あいさつをしようとする意識がまだ低いように思う。こちらから声をかけても、返事が返ってこないときがある。根気よく指導を続けることで、少しずつ改善してほしい。

○児童のあいさつがあまりできていない。学級での指導、教師からの声かけ、おたよりなどで呼びかけを続けたい。

○対処的な指導だけではなく児童の心に響くような指導を考えたい。

④ 安全管理

○集団下校時に問題点があった時は、休み時間に班の児童を集めて指導している。すばやい指導が有効なので、これからも問題があった時には指導をしたい。

○集団登下校で、道の歩き方・並び方・道路の渡り方・あいさつ等の課題はたくさんある。今後もしっかりと指導していきたい。

⑤ 研究・研修

⑥ 保護者・地域との連携

⑦ その他

○ボランティアサポート、集会活動など、その目的はよいと思うが、様々な活動を抱えすぎているように感じる。活動を精選して、子どもたちが学力をつける「ゆとり」を持ちたい。

○通信表の所見は手書きでなくパソコンを利用したデータ化をしてみたらどうか。(書く作業を省き、文章を練る時間を確保したい。)

○6年生は児童会活動に専念させ、委員会活動の常時活動を5年生の担当にしたらどうか。(来年度に向けて)

○教務が適宜指導応援に入り、助かった。

《考察》

(1) アンケート全体より

○教職員自身は自らの活動に比較的厳しい評価をしている。よりよいものを目指す心意気の表れととらえたい。

(2) 学校経営・運営について

○比較的良好的な結果だといえる。

(3) 教科等の指導について

○「朝学習」「総合的な学習」「学級活動」について、評価が厳しい。特に「朝学習」については、基礎学力充実の一手段として、その意義やねらいも含め、全教職員で再度確認する必要がある。

(4) 生徒指導について

○比較的良いであるが、「教職員の共通理解の中、…」が気になる。もう一度、「決まり」について教職員全体で確認しながら、歩調を合わせて指導していく必要がある。

○児童のあいさつがあまり良くできていないようであるので、全教職員で根気強く指導していく必要がある。

(5) 安全管理、研究・研修、保護者・地域との連携、その他について

○地域の人材を授業や行事などに対してもう少し積極的に取り入れることも必要であると思われる。

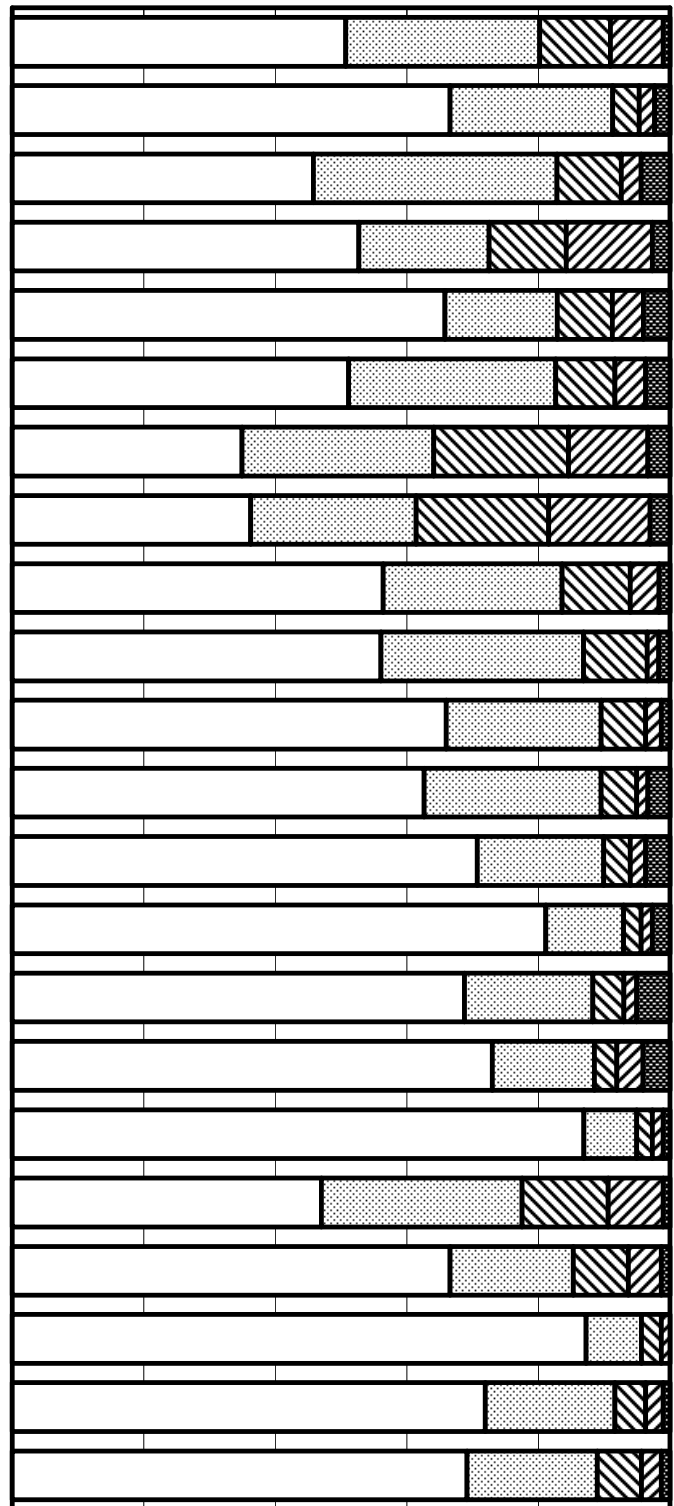
2 児童アンケートについて

(1) 集計結果

質 問 項 目
① わたしは、学校へ行くことが楽しい。
② わたしは、友達と仲良くしている。
③ わたしは、友達にいやがることを言ったり、いやがることをしたりすることが最近ない。
④ わたしは、友達からいやがることを言われたり、いやがることをされたりすることが最近ない。
⑤ わたしには、困った時に、相談にのってくれる友達がいる。
⑥ わたしは、授業がわかる。
⑦ わたしは、授業でわからないことなどを先生に質問しやすい。
⑧ わたしは、自分で考えたことを、進んで発表している。
⑨ わたしは、先生や友だちにしっかりあいさつをしている。
⑩ わたしは、掃除や自分の仕事に、しっかり取り組んでいる。
⑪ わたしは、命の大切さや社会のきまりについて、学んでいる。
⑫ わたしは、自分を大切にすることや友だちへの思いやりについて、学んでいる。
⑬ 先生は、わたしたちの意見や考えをよく聞いてくれる。
⑭ 先生は、勉強でわからないところがよくわかるように教えてくれる。
⑮ 先生は、わたしが努力したことを、認めてくれる。
⑯ 先生は、いじめやけんかでわたしたちが困っている時、よく取り組んでくれる。
⑰ 先生は、やってよいこと・悪いことを、しっかりと教えてくれる。
⑱ わたしは、家族に学校での出来事について、よく話す。
⑲ わたしは、家で交通事故や不審者から身を守る方法を教えてもらい、気をつけている。
⑳ わたしは、朝ごはんを食べて、登校している。
21 わたしは、学校からの便りや通知を、家の人にわたしている。
22 わたしは、家庭学習(宿題など)をしっかり行っている。

そう思う ほぼそう思う あまりそう思わない
 そう思わない わからない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



《考察》

(1) 学校生活について

①子供たちは、学校生活を楽しいと感じている児童が多い。

その背景として

○友だちと仲良くしていると答えている児童が多い。

○いやなことを言われたり、言ったりすることがあまりないと答える児童が多い

○友だちにいやなことを言ったり嫌がることをしたりすることが最近ないと答えている児童が多い。

○困ったときに相談にのってくれる友達がいると答えている児童が多い。

②挨拶を進んでしていると答えている子や、よく仕事をしていると答えている子が多いが、実際のようにと
のずれを感じる。子供たちは、挨拶しようとしているということか・・・。

(2) 学習に関して

①授業がわかると答えている児童が多い。

その背景として

○教師の授業のわかりやすさや、子供たちの努力を認める、話を聞いてくれる等の点で、子供たちは良い
印象を持っている。

②発言や質問に関して、児童は消極的な傾向が見られる。

③授業でわからないことを、進んで先生にできないと答えている児童が比較的多いことから、わからない内
容についての解決の手立てとして、教師に進んで質問ができるように児童・教師双方の姿勢づくりが必要
かと思われる。

(3) 家庭でのことについて

○学校での出来事はあまり話さない様子が見られる

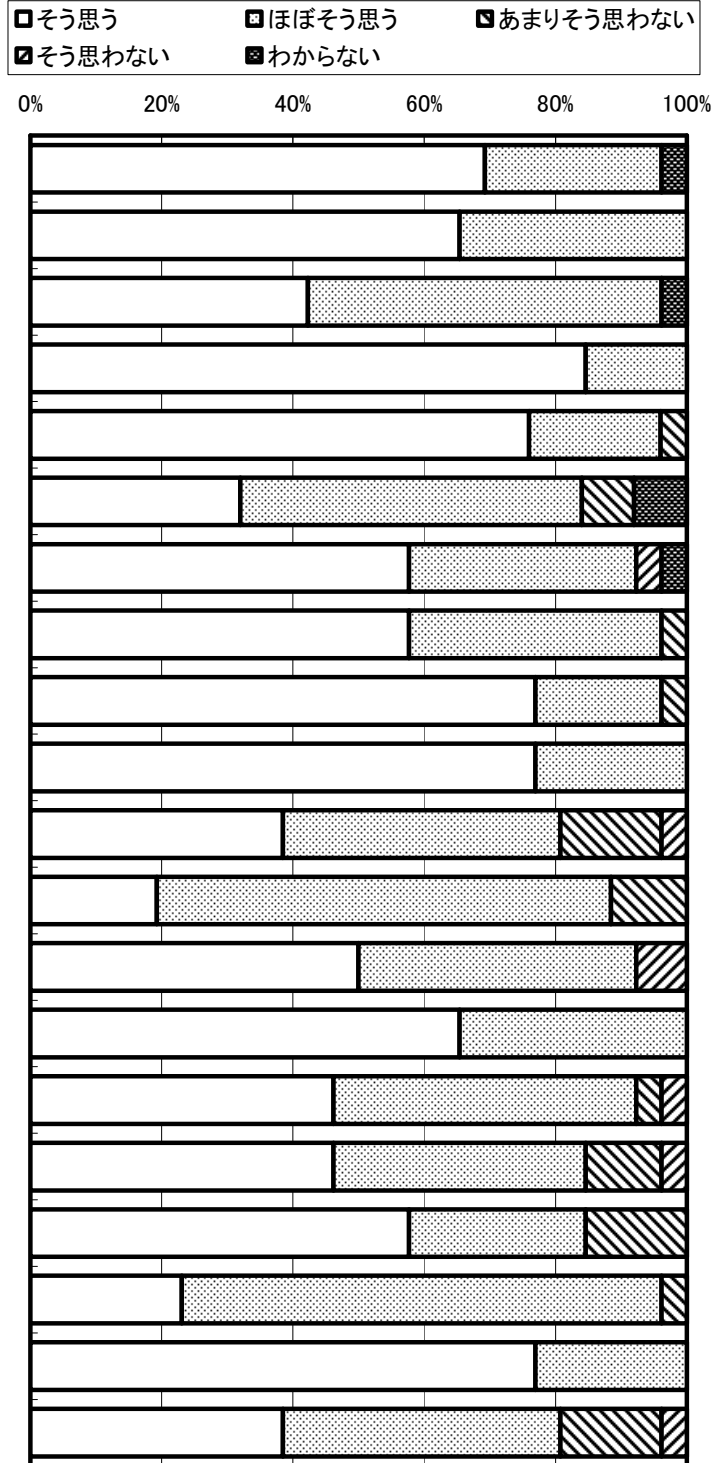
○ほとんどの子が朝ごはんを食べている。

○家庭学習（主に宿題をさしていると思われるが）は身につけている児童が多い。

3 保護者アンケートについて（PTA役員対象）

(1) 集計結果

質 問 項 目	
学校の教育活動について	1 学校は、保護者に教育目標や教育方針を伝えている。
	2 学校では、特色ある教育活動を進めている。（朝学習、縦割り班活動、体験活動など）
	3 学校は、生命を大切に作る心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている。
	4 学校は、授業参観や学校開放等で、子どもの様子を見る機会を設けている。
	5 学校、学年・学級からのお便りやホームページ等で、学校の様子がよくわかる。
	6 先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきなどに積極的に取り組んでいる。
	7 先生は、保護者からの相談に適切に対応してくれる。
	8 先生は、子どもの話をよく聞き、『よく理解してくれる。
子どもの様子	1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。
	2 子どもは、友だちと仲良く生活している。
	3 子どもは、学校のことをよく話す。
	4 子どもは、学習がわかり、基礎学力が身についている。
保護者御自身について	1 学校からの文書やお便りなどはよく読んでいる。
	2 授業参観や学校行事には積極的に参加している。
	3 子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている。
	4 子どもの様子に変化があれば、すぐに先生に知らせ、相談している。
	5 子どもに、学校のことや出来事をよく尋ねる。
	6 子どもの話をよく聞いてあげている。
	7 家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている
	8 機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。



(2) 記述欄より（保護者と学校の連携についての工夫や配慮している点）

- ①多くの保護者が連絡帳を使用して、担任と連絡を取っている。また、必要があれば担任と直接話をする機会も作っている。
- ②学校からの各種通信にできるだけ目を通すようにしている保護者も多かった。また、学年部会や授業参観などにはできるだけ参加するという保護者も多かった。
- ③学校への要望としては、子どもたちの動きを詳しく知るために、学級だよりを月に一回でも発行して欲しいという要望が目立った。

《考察》

(1) アンケート全体より

○全質問項目とも、肯定的な回答が8割を占めているため、PTA役員は学校教育に対しては十分理解を示していると考えてよい。

(2) 学校の教育活動について

○学校の情報公開については、多くの保護者が理解・賛同してくれている。しかし、「先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきなどに積極的に取り組んでいる」に対して、「そう思う」と回答した保護者は30%に達していない。また、「学校は、生命を大切に心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている」に対しても、「そう思う」と回答した保護者は50%に満たない。「ほぼそう思う」を入れると、80%を超えるが、両項目とも、日常生活や行動面などの外見上から見取ることが難しく、親としてもわが子を必要以上に高く評価することがないと思うので問題はないと思われるが、学校の性格上これらの項目について、今後はもっと力を入れていく必要がある。

(3) 子どもの様子について

○80%の子どもは、「学校に来るのを楽しみで、友達と仲良く生活している」ようである。しかし、ここでも「子どもは、学習がわかり、基礎学力が身についている」の項目の回答が低い。

(4) 保護者自身について

○全項目とも、比較的良好な結果が出ているが、「子どもの話をよく聞いてあげている」に対する回答がやはり保護者自身に自信がないことがうかがわれる。

○「機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい」と回答する保護者が40%を占めた。学校でも、社会科見学などを中心に教科でも保護者の協力を得ることを考えることにより、保護者との連携はより深まっていくと思われる。

4 今後の課題

(1) 基礎学力充実のための手立て

- 「朝学習」の見直し
- 発言や質問の活性化
- 校内研究会・研究授業の充実

(2) 生徒指導の指針となる「決まり」やルール、マナー等の共通理解と「あいさつ」のできる子どもの育成

(3) 情報発信と保護者・地域との連携のさらなる充実